

**講演会 『評価システムを学ぶ  
～評価をいかし よりよい社会をつくる～』**

日時：2009年 5月 30日（日）  
午後1時30分～3時30分  
会場：交流ラウンジ

女性が政策方針決定過程へと参画するためには、さまざまな能力が必要とされている。政策方針決定過程で議論される政策や施策・事業等について、客観的な視点でとらえることができる能力を養うために、評価システムについて学んだ。「評価は、よりよい社会を構築するために行う」という考え方を、多くの人と共有する機会となった。

講師／山谷清志

（同志社大学 政策学部・大学院総合政策科学研究科教授）  
（内閣府（男女共同参画局）監視・影響調査専門調査会委員）

参加人数／ 34人（女性 25人、男性 9人）

参加費／ 500円



**ご意見ご感想をいただきました**

- ・ 行政評価で終わらない着眼点別評価の大切さがわかった。政策の目標と手段の適切な設計を行うための力をつけていきたいと思った。
- ・ 「評価」とひとことでいっても、いろいろな手法があることがわかった。評価疲れしてしまう心配もあるので、その場にあった評価を選択することが必要。
- ・ 評価についての考え方について学べました。いかに合理的に成果を出す、何事にも同感できる感じです。
- ・ 評価概念、種類が明確になった。あらためて評価を設定する難しさを感じた。
- ・ 評価の考え方、むずかしくて頭が重くなりましたが仕事の参考になりました。
- ・ 学問的な知識として面白かった。自分の現実の取組みにはあまり参考になるものではなかった。（評価対象のほとんどが「評価対象外」の事業ばかりが現実）
- ・ 広がったので全般よくわかりました。次回、もう少し具体的な方法など学べるワークがあると嬉しいです。
- ・ 理論的なことが先行したが具体的にはわかりにくかった。



**プランなごや2 1**

目標1-1 意思決定・政策立案の場への女性の参画  
1-2 男女共同参画に向けての女性のエンパワーメント



名古屋市男女平等参画推進センター 指定管理者  
NPO法人参画プラネット